

みつけた！



六ヶ所村の魅力を発掘・発見・発信！

新たな軌道跡をみつけました！

5月16日、6月2日、6月8日に「森林鉄道ツアー」するための実地踏査を行いました。5月16日と6月8日は郷土館職員で、6月2日は二又地区の秋戸淳一さんと秋戸操さんと一緒に行いました。貯木場では、二又事務所跡と貯木場の南西側の側溝にヒバの枕木がまだ残っているかを確認 ①。老部川にかかる橋の支柱を支えていた橋台の状態を確認しました ②。

今回、今まで確認できなかった二又貯木場から尾駁林道の山神橋までの区間を調査しました。運転助手をされていた秋戸慶典さんの話では、「昭和27(1952)年には、すでにトロッコ用の軌道はなく、歩いて尾駁まで行けた小径があった」そうです。貯木場から橋を渡り、右に進む小径らしいものはあったのですが、それがトロッコ用軌道跡とわからないままでした。6月2日の調査では、奥の方まで小径を歩いて行った先に、川原石でできた石垣が、かなりの長さで残っているのを確認しました ③。これは、先ほどの橋台の上部に残っていた川原石の石垣と同じ構造だったので、この小径が、山神橋までのトロッコ用の軌道跡と確信しました。やっと、森林鉄道の路線がつながりました。



黒色実線は調査済みの二又林道、オレンジ色の実線は二又貯木場と橋、赤色実線は今回の調査軌道跡、青色実線は尾駁林道を示している。

出典: 国土地理院地図一部加筆